

ほう'はん 宝幡

【意味】『名』

金銀や玉で飾った垂れ旗。

* 靈異記 (810 - 824) 中・一六「其の路の左右に、宝幡を立て列ね」

* 文徳実録・嘉祥三年 (850) 五月壬午「后嘗多造_二宝幡及繡文袈裟_一、窮_二尽妙巧_一」

* 高野山文書・文永四年 (1267) 八月一日・僧弘覚仏具注進状 (大日本古文書四・三七九)「幡_二

十流 花幔十枚 宝幡四 盖十三」

* 綦母潜・題鶴林寺詩「珊珊宝幡挂、焰焰明燈燒」

【参照辞書辞典】『日本国語大辞典』 小学館